

妙高西条農園 おたより

異常気象で水管理が大変

No.135
7月号
2022.7.23



昔から稲作りは天候8割、人力2割といわれており、生育、実りには人がどんなに努力しても、天候にはかなわない、といわれてきました。

今年梅雨かと思ったら新潟でも6月28日に梅雨明けし、連日30℃を越える真夏日が続いたことから、6月中旬から開始した圃場の中干しを一旦中止し、用水から水入れを行いました。その後暑さも少しは和らいだことから、再び水抜きを行い圃場の乾燥程度を見ながら、水管理を行って来ましたが、私が20年前に先代から稲作りを、



稲丈70cm程は生育



新たに購入した圃場に取水口を設置

引き続きいてから、初めての異常気象となつていきます。猛暑の中の圃場の暑さ対策としては圃場の全面に日除けを掛けるわけにもいかないことから、暑い日には用水から冷水を多く入れ、雨の日は出口の水門を下げ、入水を少なくし、圃場の水位を毎日調整し管理を行なうようにしています。

そんな中ですが雑草だけが

動噴機による穂肥の散布作業



旺盛に生育することから、毎日畦の雑草刈りに汗を流しています。



毎日除草作業で汗をかいています

圃場の稲丈も70cm程に生育しましたが、一部遅れている箇所には穂肥を散布しました。暑さの中での作業は、大変ですが、夕方風呂あがりのビール一杯は、この作業を行った者でなければ、体験できない楽しい一時です。

毎年続けてきました、畦道を利用して描いていました、草の刈残しアートも今年は、カメムシ対策で中止しました。

草刈機による除草作業



宇宙芋緑のカーテンもほぼ完成し、暑い日除け対策で役立っています。



生ニンニクの乾燥状況

黒ニンニクは生ニンニクを発酵、熟成させたもので豊富なアルミノ酸、ポリフェノール等により、疲労回復、抗酸化作用により活性酸素を除去する働きがあるといわれています。1ケース70g入りで¥500です。お送りする場合には送料の関係もありませんので3ケース以上でお願いします。

昨年より約二倍の面積に植付けたニンニクですが、春先の天候不順もあり収穫と乾燥が遅れてしまいましたが、やっと黒ニン



1ケース70g ¥500-



黒ニンニク製造機

ニク生産も機動にのり五台の製造機を使い、生産をしています。当農園では有機肥料と、無農薬で栽培しています。

発行者
〒944-0023

新潟県妙高市西条755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255-72-3497
Fax 0255-72-2908